

吉野川市 議会だより

原色が彩る

“キレイのさと美郷”

ひまわり
咲いたよ!



吉野川市公式キャラクター
ヨッピー・ピッピー



議会HPは
こちらから確認!

令和3年6月議会定例会

議員紹介	2
議長・副議長就任あいさつ	3
委員会審査	6
代表質問・一般質問	8
政務活動費収支報告	14
議場紹介	15

吉野川市議会議員

任期：令和3年5月29日～令和7年5月28日

20人が決まる

任期満了に伴う吉野川市議会議員一般選挙の結果、20人の議員が選出されました。また、各常任委員会等の構成も新たに決まりました。

◎代表 ○副代表

吉野川政友会
いろは



栗原五男
鴨島町知恵島

吉野川政友会
いろは



阿佐勝彦
山川町諏訪

○吉野川政友会
いろは



福岡 正
川島町学

◎吉野川政友会
いろは



原田由一
美郷字川俣

◎薫風会



細井英輔
鴨島町牛島

吉野川政友会
いろは



中西 涉
鴨島町知恵島

吉野川政友会
いろは



近久 寛
鴨島町上浦

吉野川政友会
いろは



岡田 晋
鴨島町西麻植

薫風会



塩田智子
山川町川田

薫風会



河野利英
美郷字古土地

薫風会



岸田益雄
鴨島町鴨島

○薫風会



枝澤幹太
川島町学

○公政・麻植会



藤原一正
山川町川田

◎公政・麻植会



山添純二
鴨島町知恵島

○志誠新進クラブ



谷田憲二
山川町川東

◎志誠新進クラブ



田村修司
川島町栗村

日本共産党



岡田光男
鴨島町森藤

公明党




相原一永
川島町栗村

○吉野川市民
ファースト



川村洋樹
山川町堤内

◎吉野川市民
ファースト



北川 麦
鴨島町森藤

議長あいさつ



議長
塩田 智子

敬意を表しますとともに、心から感謝申し上げます。

この度、改選後の初議会におきまして、議員各位のご推挙をいただき、議長に就任させていただきました。

市民の皆さまにおかれましては、日頃より市議会に對しまして、深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また新型コロナウイルス感染症対策への取り組みにご尽力されている皆さまに

新型コロナウイルス感染症対策とともに、コロナ終息後を想定した活気ある吉野川市に向けて、市長をはじめ執行部とともに、取り組んでまいります。

今後とも、市民目線で

誠に身に余る光栄であるとともに、その職責の重さに改めて身の引き締まる思いでございます。

長期化するコロナ禍において、議会が果たす役割と責任は重要さを増しております。

開かれた公平公正かつ円滑な議会運営に努め、市政発展のため全力で取り組む所存でございますので、なお一層のご支援とご協力をお願い申し上げます、就任のご挨拶とさせていただきます。

副議長あいさつ



副議長
田村 修司

つ健全な議会運営に努め、市政におけるチェック＆バランスの役割をしっかりと果たしてまいりたいと考えています。

昨年来の市民の皆さまの最大の関心事であるコロナ禍は、残念ながら未だ封じ込めには至っておりませんが、ワクチン接種も進み、知見や情報も蓄積されてきました。

この度、6月議会定例会において議員各位からのご推挙により、副議長の大役を仰せつかりました。議長を支え、公正か

きコロナですが、良い変化もさまざまありました。これを奇貨と捉え、過去に戻るのではなく、新しい発想で吉野川市の抱える課題に向き合っていきたいと考えております。

どうか市議会に関心を寄せていただき、どんなご意見を賜りますようお願い申し上げます。

委員会構成

常任委員会

■総務常任委員会

委員長 川村洋樹
副委員長 河野利英
委員 桑原五男
岡田晋
塩田智子
福岡正
山添純二

議会運営委員会

委員長 細井英輔
副委員長 谷田憲二
委員 原田由一
相原一永
岡田光男
藤原一正
川村洋樹

議会広報特別委員会

委員長 岡田光男
副委員長 谷田憲二
委員 岸田益雄
相原一永
阿佐勝彦
北川 麦

監査委員

山添純二



■産業建設常任委員会

委員長 相原一永
副委員長 北川 麦
委員 原田由一
田村修司
細井英輔
阿佐勝彦

■文教厚生常任委員会

委員長 藤原一正
副委員長 谷田憲二
委員 近久 寛
中西 涉
岸田益雄
枝澤幹太
岡田光男

議会あれこれ ～国会と地方議会～

	国会	吉野川市議会
議会の名称		
政治制度	議院内閣制 内閣（行政機関）は議会の信任を得て成立し、内閣は議会に対して責任を負う。 議会の多数派から内閣が構成される。	二元代表制 市長（行政機関）と議員はそれぞれ直接選挙で選ばれる。議会は市長と対等の機関として市の方針を決定（議決）し、執行を監視する。
定期的に開かれる会議	名称：常会 召集：内閣が決定し、召集詔書 <small>しょうしゅうしやうしよ</small> の公布により行う天皇の国事行為。 毎年1回、1月中に開く。 会期：150日間（延長1回まで）	名称：定例会 召集：市長が告示により行う。 毎年4回3・6・9・12月に開く。 会期：議決による （各20日間程度、延長何回でも可）
臨時会 （臨時的必要がある場合に開かれる会議）	召集：①内閣の必要に基づく場合 ②衆議院・参議院いずれかの議院の総議員の4分の1以上の要求 ③衆議院の任期満了による総選挙、参議院の通常選挙後 会期：両議院一致の議決による （延長2回まで）	召集：①市長が告示により行う ②議長または議員が臨時会の招集請求をし、市長が20日以内に招集を行わない場合は議長が招集 会期：議決による（延長何回でも可）
特別会	衆議院の解散による総選挙後に開く。 会期：両議院一致の議決による （延長2回まで）	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国権の最高機関 ・ 立法機関 （唯一法律を作れる） ・ 不逮捕特権・院内発言免責特権あり 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市の最高機関ではない （市長・議員とも直接選挙で選ばれるため） ・ 法令の範囲内での条例制定権 （市長も有している） ・ 不逮捕特権・院内（議会内）発言免責特権なし

豆知識 - 召集と招集 -

「召集」は、身分や地位の高い人が、自分よりも下の者を呼び寄せる時に用いる言葉で、主に天皇が人を呼び寄せる（国会の召集など）行為に対して使用します。一方「招集」は、身分や地位が対等な人を呼び集める時に使用する言葉です。



令和3年6月議会定例会 審議結果一覧



	議案名		結果
選挙	—	議長選挙について	投票
	—	副議長選挙について	投票
	—	徳島中央広域連合議会の議員選出について	指名推選
	—	阿北火葬場管理組合議会の議員選出について	指名推選
	—	阿北特別養護老人ホーム組合議会の議員選出について	指名推選
	—	中央広域環境施設組合議会の議員選出について	指名推選
	—	徳島県後期高齢者医療広域連合議会の議員選出について	指名推選
報告	報第4号	令和2年度吉野川市一般会計繰越明許費繰越計算書について	報告
	報第5号	令和2年度吉野川市水道事業会計予算繰越計算書について	報告
	報第6号	令和2年度吉野川市下水道事業会計予算繰越計算書について	報告
専決	報第7号	専決処分の承認を求めることについて(吉野川市税条例等の一部を改正する条例)	承認
	報第8号	専決処分の承認を求めることについて(吉野川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認
	報第9号	専決処分の承認を求めることについて(吉野川市介護保険条例の一部を改正する条例)	承認
	報第10号	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度吉野川市一般会計補正予算(第12号))	承認
	報第11号	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度吉野川市一般会計補正予算(第2号))	承認
	報第12号	専決処分の報告について(和解及び損害賠償額の決定について)	報告
条例	議第28号	吉野川市手数料条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
予算	議第29号	令和3年度吉野川市一般会計補正予算(第3号)について	原案可決
	議第31号	令和3年度吉野川市一般会計補正予算(第4号)について	原案可決
人事	議第30号	監査委員の選任について(議会)	同意

委員会の仕事

議会運営委員会

スムーズな議会の運営をするため、定例会の日程や議会のルールなどを決めます。
議会の運営、会議規則、委員会条例、議長の諮問に関する事項などを話し合います。

常任委員会

市の事務を3つの委員会にわけ、その調査、議案、請願などについての審査を行います。

・総務常任委員会

市の総合戦略・財政戦略、統計、防災、防犯、交通安全、財産、契約、市税、住民情報管理、消費生活、環境衛生などのほか、他の常任委員会の所管に属さない事項

・産業建設常任委員会

農業、林業、地籍調査、商工業、観光、道路や河川の管理、都市計画、市営住宅、建築、水道、下水道など

・文教厚生常任委員会

保健衛生、福祉、介護保険、学校教育、学校施設の管理、社会教育、文化財、生涯学習、公民館の管理、スポーツ推進・スポーツ施設の管理、図書館など

特別委員会

特に必要があるときは、議会の議決で特別委員会をおくことができます。

・議会広報特別委員会

年4回議会だよりの編集と発行を行います。

・決算特別委員会

歳入歳出予算の執行内容を審査し、収入・支出が適法かつ正当に行われたかの確認を行います。

総務常任委員会

◇市長提出議案5件を審査

●専決処分の承認を求めることについて（令和2年度吉野川市一般会計補正予算（第12号））

問 トイレの照明を人感センサーに付け替えるのは本館だけか。500万円は高くないか。財政が厳しい中、もっと慎重に検討する必要があると思うが。

答 人感センサーに付け替えるのは、本館1階から4階の男子女子トイレの照明と給湯室の照明となっている。設計を業者に委託し、入札において執行したいと考えている。

●令和3年度吉野川市一般会計補正予算（第3号）について

問 わくわく移住支援事業で160万円、世帯が100万円で単身が60万円と聞いたが、1件ずつの予定なのか。

答 昨年度が2世帯4名という実績であり、1世帯3名で100万円、単身1名で60万円の合計160万円であった。

今年度はまだ予定はないが、1世帯分と単身1名分の合計160万円を予算計上している。

問

実際移住して来られた方はさまざま不安がある。生活が安定するまでの相談・サポートの仕組みを作り、実態を調査しなければ、現況届の提出という形式審査のみでは大切な補助金の行く末を見届けられないと思うが。

答

生活全般が安定するまでの相談・サポートについて、市長公室が相談窓口となることを説明するとともに、現況届の提出時には窓口で生活状況を伺うなど、移住された方が相談しやすい体制作りを検討する。

生活実態調査については、実施に向けての検討を行いたい。

コロナ禍の中、訪問での調査は困難であるため、郵送によるアンケート方式の調査を行うなど、実施の方法については今後検討していきたい。

問

タブレット30台を購入しWEB会議で使用することだが、個人や団体ではなかなか機材やインターネット環境を準備しにくい状況がある。

そこで、今回購入する機材について、広く婦人会などの各種団体がWEB会議を行う際にも、活用できるような仕組みを考えては。

答

コロナ禍で新しい働き方改革が積極的に進められる中、テレワーク等のICT化が加速し、県や他市町村、外部機関等との会議などは、WEB会議が主流となっている。今回購入を検討している機器は、昨今の社会情勢を踏まえ行政の円滑な執行ができるよう対応するために導入するものである。まずは、今後の運用状況等を把握し、業務に支障のない範囲となるが、関係団体が公共的な活動を行う場合には利用していただけるよう関係部局と協議し前向きに検討したい。

●吉野川市手数料条例の一部を改正する条例制定について

問

マイナンバーカードの直近の発行枚数と市の人口比での発行率は。

また、近隣自治体との比較および過去の再発行件数は。

答

本市のマイナンバーカードの直近の発行枚数は、6月13日現在で1万4169枚である。発行率は34.75%であり、県全体を0.8%上回っている。

県内8市では、鳴門市、徳島市について3番目の発行率であるが、徳島市との差は0.04%と僅差の状況である。

過去のマイナンバーカードの再発行件数について、平成27年度は0件、平成28年度と平成29年度はそれぞれ1件、平成30年度は2件と低調であったが、令和元年度は13件、令和2年度は46件と、マイナンバーカードが普及するにつれて増加している。



本庁1階のマイナンバー専用窓口

文教厚生常任委員会

◇市長提出議案4件を審査

●令和3年度吉野川市一般会計補正予算（第3号）について

問

「コロナに負けるな！子ども応援給付金事業」について、一般的には申請が不要とのことだが、どのような場合に申請が必要なのか。

答

児童手当受給者のうち、市が把握していない公務員世帯等である。また、児童手当

の給付が中学生までのため、中学生以下に兄弟のいない高校生のみの世帯も申請が必要となる。申請が必要な世帯には申請書を送る。

問

成人式出席希望者へのPCR検査は、どのような

方法とタイムスケジュールで実施するのか。また、いつの時点の判定で確認するのか。

答

令和3年および令和4年成人式は予約制で実施する。予約には事前の電子申請手続きが必要で、10月上旬から受付し、出席希望者には居住地、メールアドレス、帰省予定日、個人情報提供同意等の登録を行っていただく。県外からの出席者へのPCR検査キットの送付は、帰省の前週に実施する。検査結果は随時、各個人や教育委員会へ電子メールで報告される。その後、陰性確認者へバーコード付きの出席案内をメール送信し、1月3日の成人式当日には、このバーコードによる受付と体調をチェックし、入場を行う予定である。

PCR検査の検体採取日は、帰省予定日にできるだけ近いことが望ましいが、陰性結果が出た後の帰省をお願いするため、帰省予定日の5日程前を想定している。

また、検体採取後は外出を控えること等を要請し、安全・安心のもと開催したいと考えている。

産業建設常任委員会

◇市長提出議案2件を審査

●令和3年度吉野川市一般会計補

正予算(第3号)について

問

夢紡ぐふるさと便事業の
詳細な説明を求める。また、転出し住民票を移した場合も対象となるか。周知の方法と、申請は親・本人のどちらがするのか。

答

本事業の対象者は、本市から県外の大学等に通うため転出した学生で、保護者等の住民票が本市に登録されているなど、全ての要件を満たした方としており、学生が県外に住民票を移した場合、移さなかった場合とも対象とする。

申請期間は、令和3年7月15日からの約1カ月間を予定している。申請方法は市ホームページでのWEB申請とし、申請フォームに必要事項、アンケートの記入、また学生証明書・居住が確認できる書類の画像を添付し、学生本人からの申請とする。

本人からの申請とした理由は、アンケート調査により、本市出身

の学生が遠くから吉野川市を見て、どのようになれば魅力的な街になるのか、卒業後に本市に帰ってきたいという思いはあるのか等、現在の若者の本市に対する正直な意見をいただきたいと考えているからである。

対象の学生は県外に住んでいるため、市ホームページや広報よしのがわのほか、ケーブルテレビ等を活用して周知し、保護者等をはじめ友人、知人のネットワークを通じて1人でも多くの学生にお伝えいただきたいと考えている。

送付する特産品は、本市ブランド認証品から生鮮食品を除く、できる限り長期保存が可能な米などの食品を選定し、予定としては1回5000円程度の品を9月、12月の2回に分けて送付し学生を支援する。



3種類から選べる
特産品セットのイメージ

問

市のPRもこめて、ブランド認証品のカタログを同封し、市長の応援メッセージを送付しては。

答

ブランド認証品など本市の特産品等を掲載している、ふるさと納税のお礼の品の力タログを同封し、特産品と併せてふるさと納税の周知も図りたい。

市長の応援メッセージについては、県外で生活する学生の元気づけになると考えられるため進めていく。

問

砂防堰堤の浚渫工事について県と協議したとのことであるが、県からの負担金はないのか。また、この場所に11トンのダンプが入るのか、どのような工法で掘り出すのか。

答

堰堤の既存場所は県の砂防指定地には指定されていないため、工事に伴う県からの負担金はない。市内の浚渫工事は通常、建設課作業班が行っているが、今回の現場は底が深いため、ロングアーム付きバックホウという特殊な作業機械により土砂を搬出する工事計画としている。

なお、4トン車での設計を見込んでいます。

ご自身が聞きたい

代表・一般質問

※誌面の都合により要旨のみを掲載しています。
詳しくは、市議会ホームページの会議録をご覧ください。
（QRコードを読み取れば、会議録が確認できます。）



6月議会定例会では7名の議員が代表・一般質問を行いました。

●の質問を中心に取り上げました。

代表質問

栗原 五男（吉野川政友会いろは）

- 財政状況について
- 経済活性化について
- 新型コロナウイルスワクチンの状況について
- FC徳島ホームタウン事業について
- 新型コロナウイルス感染症対策について
- 市民プラザについて
- 成人式について

一般質問

相原 一永

- プラスチックごみゼロの取り組みについて
- 国土強靱化計画における本市の河川改修について
- 新型コロナウイルスワクチン接種に係わる対応について
- 中高年のひきこもり対策について

阿佐 勝彦

- 瀬詰大橋の安全について
- ゴミの不法投棄について
- 指定管理料の切り詰めについて
- 夢紡ぐふるさと便事業について
- 交通弱者への支援の現状は

中西 渉

- 認知症支援について
- 農業施策の現状と今後の取り組みについて

岡田 晋

- 飯尾川の浸水対策について
- 徳島病院の存続について
- 新型コロナウイルスワクチン接種について

細井 英輔（薫風会）

- 財政危機への対応について
- 新型コロナウイルスワクチン接種について
- 徳島県GIGAスクール構想の実現に向けての本市の状況について
- 山瀬小学校屋内運動場改築工事について
- 本市の木造住宅耐震化について

岡田 光男

- コロナ禍での国民健康保険制度について
- 特別障がい者手当について
- 平和行政について
- ファミリーサポートセンターについて



吉野川政友会いろは
榎原 五男
くわはら いつお

問 今年度の市長の財政運営の方針は

答 財政危機突破型の補正予算編成とする

問 財政が厳しく何年か先には基金が枯渇し、このままでは財政再建団体に陥る状況であると、昨年12月に市長が財政危機突破宣言をしたが、令和2年度の決算状況と、今年度の市長の財政運営の方針は。

答 令和2年度の決算状況について、現在決算調整中ではあるが一般会計の実質収支は、昨年度比で約2億円減少する見込みである。

財政危機の指標の一つとしている財政調整基金、減債基金、地域振興基金の主要3基金の残高は10億円減少の見込みであったが、早い段階で3億円の減少にまで抑えられており、一つの大きな成果であると考えている。

また、民間企業の主導によりポートレースチケットショップが鴨島町内に設置されることとなり、事業収益の一部が本市に納入されることとなる。第4次行財政改革の状況について、公用車の広告事業に

10件の申し込みがあった。本市の公用車が優良な広告媒体として役立つよう、適正な維持管理に努めていく。

今年度の財政運営方針は、昨年度以上の経費削減等を目標に掲げ、補正ありきではなく、予算を使う前に知恵を使う「財政危機突破型」の補正予算編成とする方針である。

一日も早い財政危機突破に向けて、今年4月からは既存庁内組織である「行財政調査会」を機能強化して推進エンジンとし、スタートダッシュを図ったところである。今後にも市長が先頭に立ち、最善を尽くす。

【その他の質問】

問 コロナ禍における中小企業・市民への支援は。

答 地方創世臨時交付金を活用し、事業者応援給付金、融資利用者応援給付金とチャレンジ事業支援給付金とともに、おえクーポン券を発行し市内経済の活性化を図った。

問 スーパープレミアム商品券の状況は。

答 現在、取扱店舗数は250店舗を超えており、継続して募集している。利用期限は9月30日までの予定。

問 新型コロナウイルスワクチンの接種状況は。

答 65歳以上の対象者の接種率は、6月15日現在、予約を含め90%である。

問 今後の接種計画は。

答 段階的に年齢を引き下げ、希望者全員への接種完了は遅くとも11月末を目標に進めている。

問 FC徳島のホームタウン構想の進捗状況は。

答 3月29日に本市とFC徳島の間で、地域貢献に関する連携協定を締結した。

問 アリーナなどの利用状況は。

答 令和2年度の利用者数は市民プラザを含め16万1808人で、利用者数

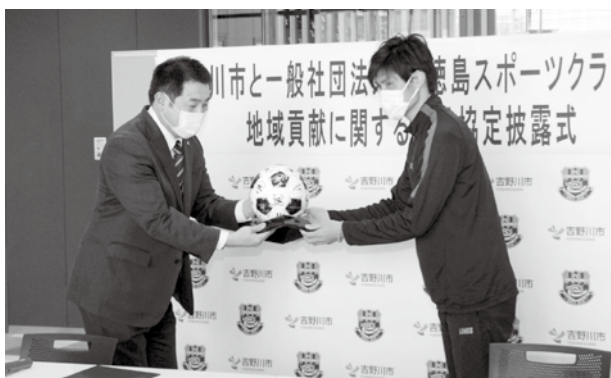
は当初計画を上回っている。

問 令和3・4年成人式の開催方法は。

答 来年1月3日に午前・午後の2部制で開催する。

問 令和4年4月の成年年齢に関する民法改正に伴う成人式のあり方は。

答 メリット・デメリットを総合的に勘案し、本市では20歳の方を対象に開催する。



連携協定披露式の様子



ほそい えいすけ
細井英輔
薫風会

問

特定目的基金の活用についての考えは

答

財政状況をしっかりと見極め有効活用したい

問

昨年12月議会での「財政危機突破宣言」から約半年が経過した。

これまで、第4次行財政改革の見直し等の実施により少なからず成果が上がっているが、行財政改革を行うだけでは、根本的な解決には繋がらないと思う。

見直した第4次行財政改革を進める上で、激変緩和措置が必要な場合も想定される。

長引くコロナ禍による税收減も懸念され、財政調整基金や減債基金以外の財源確保の手段として、特定目的基金の活用も選択肢として考えられるが、どのように考えているのか。

答

主要3基金のうち「財政調整基金」と「減債基金」は、単年度の財源調整のほか、年度間調整という役割も担う基金であることから、財政の健全化と市の活性化の両立を図るためには、「特定目的基金」等を有効的に活用することも必要になると考えている。

特定目的基金には、主要3基金の一つである「地域振興基金」も含まれている。地域振興基金は合併特例債を原資に造成し、使途を定めた特定の目的を持つ基金である。

まだ借入の返済が残っており、合併まちづくり計画に位置づけられたソフト事業に使用が限られる等の制約もあるが、単に温存するのではなく、状況に応じて有効活用したいと考えている。

今年度の特定目的基金の活用状況は、運用益等を当初予算に計上しており、基金の設置目的に応じた事業の財源として活用している。

特に「地域振興基金」については、今年度新たに基金の一部の運用を定期預金から国債に転換し、これにより生じる運用益の一部は、今議会に提案している補正予算の財源としたほか、「環境施設整備基金」の一部を取り崩し、懸案の「新ごみ処理施設整備」に係る財源として有効活用を図っている。

また、今年度は昨年度以上の経費削減等を目標に掲げ、新型コロナウイルス感染症対策を除き特定財源のみを財源として編成しており、財政危機突破を目指す、本市を象徴する補正予算編成としている。

今後も財政状況をしっかりと見極め、状況に応じ特定目的基金等を有効活用し「財政の健全化」と「本市の活性化」の両立を図っていきたいと考えている。

【その他の質問】

問

新型コロナウイルスワクチンの予約キャンセル等で余った分を活用し、市職員に接種すべきと考えるが。

答

やむなくワクチンが廃棄されることとなる場合には、市職員へ接種することで有効活用できるよう努める。

問

GIGAスクール構想において、教員の指導スキル向上策は。

答

適切かつ多様な研修を実施し、教員のICT

活用能力を高め、誰ひとり取り残すことのない個別最適化された学びを進めるため、指導スキルの向上に努めていく。



タブレット端末を活用した音楽の授業





あいはら なが 一永 相原

問

中高年のひきこもり家族をどのように支援するのか

答

プラットフォームを創設し、本人やその家族に合った支援に努める

問 ひきこもりのきっかけは、退職・人間関係・病気が上位を占めている。いつ、誰が、何をきっかけに当事者になるかわからない時代であるが、この中高年のひきこもり家族を、市としてどのように支援するのか。

答 相談窓口を明確化し周知するとともに、関係者間での目標共有に向け支援対象者の実態・ニーズを把握し、関係機関による支援や気運醸成のためのプラットフォームの設置・運営に取り組む。

問 本人や家族に寄り添うにはどうすれば良いのかを考え、良き相談者・支援者をつくり居場所をつくること、サポーターを養成し家族に関わっていくことが大切だ。

答 市内にもひきこもり家族を抱えて悩んでいる家庭が多く存在する。行政として、もう一歩踏み込んだ対応が必要と思うが。

答 相談する機関を知らないなどの理由で家庭内で抱え込むケースが多く、把握するのは難しいが、少子高齢化・人口減少・労働人口減少などに直面する本市にとって大きな問題と受け止めている。

支援施策が機能するよう、先進事例などを参考に支援体制を構築しサポートを行いたい。

問 この問題に手を入れるか否かによって、その家族の未来、これからの扶助費の拡大か抑制かが決まると思うが、再度見解を問う。

答 地域や関係機関との連携を深めるため、今年度中にプラットフォームを創設し、当事者や家族に合った支援策を講じるよう努める。

【その他の質問】

問 高齢者のコロナワクチン接種は、7月末までに希望者全員終えることができるのか。

答 完了すると思込んでいる。

問 川田川の昨年度中の浚渫は何mできたのか。

答 川田橋から上流で約4万3000mと報告を受けている。

問 プラスチックごみゼロの取り組みについて市の考えは。

答 削減に向けてできることから取り組みを検討する。



なかにし わたる 中西 渉

問

農業施策の現状と今後の取り組みは

答

支援事業を活用しながら担い手の育成に努める

問 日本の農業は農家の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加など多くの課題を抱えている。国は、若い世代の育成や、地域による収穫期の協力体制の強化、外国人労働者の採用などを推進しているが、本市における農業の担い手対策、新規就農者の促進・定着対策は。また、農福連携についての取り組みは。

答 担い手対策として、新規就農の促進や農地の貸し借りを仲介する農地中間管理事業と「人・農地プラン」を令和2年度に実質化した。新規就農者への支援としては、平成24年から農業次世代人材投資事業を実施し、青年新規就農者の経営安定を支援している。令和3年度からは、新規事業として経営継承・発展等支援事業を開始している。

問 これらの事業を積極的に活用しながら、引き続き吉野川農業支援センター・麻植郡農業協同組合などと連携し、担い手の育成に努める。

答 農業経営体による障がい者の雇用、障がい者就労施設などによる農業参入や作業受託等が見られる中、県の補助事業である農山漁村未来創造事業を

活用し、令和2・3年度に農福連携の取り組みを支援している。農福連携が地域で当たり前のものとして定着するよう、福祉部局などと情報共有を行うっていく。

問 農地取得の下限面積の緩和の考えは。

答 本市の農業委員会は、下限面積を30アールと決定している。農業経営を考えると、耕作面積30アール未満では生産性が低く、効率的かつ安定的に継続して耕作が行われにくく、農業収益も見込めない。

問 市内市町の動向を注視しながら、新規就農者の拡大と農地の適正な有効利用のため、農地取得に係る下限面積の緩和について検討する。

答 認知症対策について、本市の現状と取り組みは。

問 認知症初期集中支援チームが訪問し、自立生活をサポートしている。予防や早期発見・早期対応のための事業を進め、認知症になつてからも地域で支える体制の強化に取り組んでいる。

答 認知症初期集中支援チームが訪問し、自立生活をサポートしている。予防や早期発見・早期対応のための事業を進め、認知症になつてからも地域で支える体制の強化に取り組んでいる。

答 認知症初期集中支援チームが訪問し、自立生活をサポートしている。予防や早期発見・早期対応のための事業を進め、認知症になつてからも地域で支える体制の強化に取り組んでいる。

※1 プラットフォーム：複数の組織が共通の目的のために連携して協力する体制。
 ※2 農福連携：農業分野と福祉分野が連携し、障がい者等が農業生産活動に携われるよう支援する取り組み。



おかだみつお 岡田 光男

問 **答**

平和宣言都市として
アオギリの植樹を行っては

平和のシンボルとして
管理等も含め検討していく

問 全国では原爆による惨禍が2度と繰り返されないことや、世界恒久平和の実現を祈念し、「アオギリ」の種子や苗木が国内外へ贈られ植樹されている。

答 本市でもこの「被爆アオギリ2世」を植樹すべきと考えるが。

問 本市の加入する平和首長会議の実態を理解してもらい、核兵器廃絶を願う被爆者の切実な思いを一人でも多くの方に共有していただくよう、「被爆アオギリ2世」の苗木配布事業が平成26年度から開始されている。

答 本市においてもその主旨に賛同し、自治体の平和のシンボルとなる「被爆アオギリ2世」の植樹について、管理等も含め今後検討していく。

【その他の質問】

問 令和2年度国民健康保険特別会計では、1億円の赤字を見込んでいたが実績は。

答 前年度繰越金が約7400万円発生したことなどにより、赤字は約2900万円となった。



平和記念公園（広島市）の被爆アオギリ

問 介護保険の要介護4または5の方の特別障害者手当受給者数は。

答 受給者は15名おり、そのうち身体障害者手帳を持たずに受給している方は1名である。

問 ファミリーサポートセンターの利用者が激減しているが、その要因と対策は。

答 一時預かり事業の拡充、放課後児童クラブの対象年齢拡大などが減少の要因となっている。事業の周知を積極的に行い、援助が届けやすい環境の整備を進めたい。



あさかずひこ 阿佐 勝彦

問 **答**

指定管理委託料の削減に向けて
指標値を設定しては

総合的に検証、見直すことで
経費削減に繋がりたい

問 令和2年度の基金取り崩しは、当初予定の10億円近くから3億円程度に引き下げることができたが、指定管理委託料が減額の方向になっているのか不透明である。

答 本年度で契約が満了する施設について、現在、どのような協議・検討を行っているのか。また、引き下げに向けた指標はあるのか。

問 財政担当の総務部次長・財政戦略係の新設、併任職員の配置による市長公室の充実など、行財政改革を着実に推進するため組織面からの強化を行った。

答 また、行財政調査研究会会長を政策監に、副会長を総務部次長にと、より実効性の高い組織へと見直しを行い、公共施設、債権管理の2専門部会を立ち上げ、検討を進めることとしている。来年度更新予定の指定管理6施設について、施設の管理運営方法・必要性・あり方などの実態を調査しており、この結果を踏まえて更新の判断を行う。

指定管理者制度は、単に行政運営の簡素化や経費削減だけを制度導入の判断材料とするのではなく、市民サービスの向上を第一に考え、公の施設が担

うべき役割を十分に発揮できるように制度運用しなければならぬと認識しており、総合的に検証、見直すことで経費削減に繋がりたい。

問 6施設の管理運営方法などの方針を出す時期は。

答 各施設の所管課において、指定管理者の公募を9月頃に開始予定であるため、7月中を目途に方針を出す予定である。

【その他の質問】

問 交通弱者への支援策の進捗状況は。

答 吉野川市地域交通に関するアンケートの集計を行っており、今後分析を行う。

問 導入方式により準備期間が異なるが、早期の制度構築を目指したい。

答 ごみの不法投棄について現在のパトロールの現状は。

問 山間部を中心に週2回程度巡視を行っている。

答 また、新たに発見した場合は、阿波吉野川警察署と連携を図りながら対応を行う。



おかだ すすむ
岡田 晋

問

徳島病院の存続要望を粘り強く行つては

存続に向けて引き続き強く要望しつゝ

問

国立病院機構徳島病院は、医療のみならず雇用、経済面でもなくてはならない病院になっているが、本市への経済効果は。

自然災害発生時には「徳島県災害医療支援病院」としての重要な役割を担う病院であるが、災害時連携協定締結の進捗状況は。また、病院存続を求め署名が5万7337名集まり、ストップしている移転統合計画への現在の取り組みは。

答

6月1日現在、352人の職員のうち109人の方が本市への市民税納税義務者とのことであり、物品納入概算金額なども合わせると経済効果は大きい。

協定については、協議内容が整い次第、正式に「災害時における避難場所利用に関する協定」を締結する。

今後も市民の声をお聞きしながら、本市になくなくてはならない医療機関であるという認識のもと、存続に向け引き続き取り組んでいく。

問

市長はトップセールスをマニフェストに掲げている。市長が先頭に立ち、存続要望を粘り強く行つてはどうか。

答

今後は、地元選出の国会議員に存続への要望活動をお願いするとともに、厚生労働省や国立病院機構本部へ、存続に向けて引き続き強く要望していく。



存続要望のある「徳島病院」

【その他の質問】

問

飯尾川の浸水被害対策は本市の重要課題の一つであるが、浸水解消に向けての要望を市長としてどう取り組むのか。

答

先頭に立って要望活動を継続し、事業主体の県となお一層の緊密な連携・協力体制を図り、浸水被害解消に向け取り組んでいく。

初 議会とは？

先の一般選挙の結果、議員20名による議会が構成され、令和3年5月29日から令和7年5月28日までが任期となります。任期開始後は、議会が本格的に活動できる体制を整えるために、いろいろなことを初めに決めておく必要があります。そこで開かれるのが「初議会」です。

初議会では、まず議長と副議長の選挙を行います。その後、議場で各議員がどの席に座るか、また、常任委員会などの委員や正副委員長を誰にするかなど話し合います。

議会のごきき（3月～5月）

- | | |
|--------|------------------------|
| 3 / 24 | 徳島中央広域連合議会定例会 |
| 26 | 中央広域環境施設組合議会定例会 |
| | 阿北特別養護老人ホーム組合議会定例会 |
| | 阿北環境整備組合議会定例会 |
| | 阿北火葬場管理組合議会定例会 |
| 4 / 30 | 美馬市議会正副議長就任挨拶来庁 |
| 9 | 徳島県市議会議長会定期総会（書面開催） |
| 27 | 議会広報特別委員会 |
| 5 / 26 | 第83回四国市議会議長会定期総会（書面開催） |
| | 全国市議会議長会第97回定期総会（書面開催） |

令和2年度政務活動費収支報告

政務活動費は、地方議会の審議能力を強化し、議員の調査活動基盤の充実を図る観点から、議会の議員の調査研究、その他の活動に資するため必要な経費の一部として交付されるものです。

法の趣旨に基づき、本市では、吉野川市議会政務活動費の交付に関する条例を制定し、会派に対し政務活動費を交付しています。(交付額：月2万5,000円×所属議員数)

政務活動費を充てることができる経費の範囲は、条例別表に定める調査研究（会派が行う調査研究、調査旅費、資料作成費、資料購入費、広報、会議）に要する経費としており、残額が生じた場合は返還することとなっています。

なお、各会派ごとの収支報告内訳書は、市議会ホームページでも公開しています。

収支報告集計表

【交付対象期間】令和2年4月～令和3年3月（単位：円）

会派名	所属議員	交付額	調査研究費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	会議費	支出合計
薫風会	5	1,500,000	0	0	39,578	93,280	746,583	0	879,441
公政・麻植会	2	600,000	0	0	9,130	0	0	0	9,130
吉野川市民ファースト	2	600,000	0	0	18,260	0	0	0	18,260
公明党	1	300,000	0	0	9,130	0	0	0	9,130
日本共産党	1	300,000	0	0	9,130	0	0	0	9,130
いろは	1	300,000	0	0	9,130	0	0	0	9,130
吉野川政友会	5	1,125,000	0	0	31,100	85,597	746,583	0	863,280
志誠新進クラブ	3	675,000	0	0	15,015	7,332	0	0	22,347
志誠会	2	150,000	0	0	8,336	2,382	0	0	10,718
由美会・清風会	2	150,000	0	0	1,622	0	0	0	1,622
新進クラブ	2	150,000	0	0	1,622	0	0	0	1,622
新風クラブ	2	150,000	0	0	1,623	9,807	0	0	11,430
小計		6,000,000	0	0	153,676	198,398	1,493,166	0	1,845,240

※志誠会、由美会・清風会、新進クラブ、新風クラブ6月会派解散、吉野川政友会、志誠新進クラブ6月会派結成

支出項目の説明

調査研究費	会派が研究会、研修会を開催するために必要な経費又は会派に属する議員が他の団体の開催する研究会、研修会に参加するために要する経費
調査旅費	会派の行う調査研究活動のために必要な先進地調査又は現地調査に要する経費であって、吉野川市議会議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の基準を超えないもの
資料作成費	会派の行う調査研究活動のために必要な資料の作成に要する経費
資料購入費	会派の行う調査研究活動のために必要な図書、資料等の購入に要する経費
広報費	会派の調査研究活動、議会活動及び市の施策について住民に報告し、広報するために要する経費
会議費	会派が地域住民の市政に関する要望、意見を吸収するために行う会議及び会派の政策等を審議するために行う会議に要する経費

令和2年度会派行政視察について

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会派行政視察を中止しました。

議場紹介



傍聴席から議場全体



議場中央から議長席

- ① 議長席 議長席は、議場の様子がよく見えるように高くなっています。議長は議員の中から選挙によって選ばれ、議会が円滑に進むよう司会進行を行います。

- ② 演 壇 執行部が、議員からの質問への答弁や、議案の説明などをします。また、議員は意見を発言したり、委員会の報告を行います。

- ③ 執行部席 議員への説明や質問に答弁するため、市長や職員が座ります。

- ④ 議会事務局 議会の仕事をする職員です。議長の隣に事務局長が座り、議長の進行の補佐をします。

- ⑤ 質問席 議員が代表質問や一般質問、質疑を行います。

- ⑥ 議員席 執行部との話し合いの中で、質問や意見を発言するため、議員が座ります。どの席に座るかは、一般選挙後最初の会議で議長が定めます。

- ⑦ 傍聴席 議会を傍聴するところです。座席は36席あります。(コロナ対策のため、現在は12席に制限中)

- ⑧ 記者席 報道機関の記者が座ります。



議場中央から議員席

旬感 よしのがわ

令和元年5月に文化庁から認定された日本遺産「藍のふるさと阿波」日本中を染め上げた至高の青を訪ねて」は、吉野川市をはじめとした9市町で構成されています。

「阿波の北方」といわれた吉野川流域の平野部では、昔から藍づくりが盛んに行われており、江戸時代・明治時代には一大産業でした。

吉野川市文化研修センターでは、藍染め講座が3年ぶりに復活しています。また、「阿波藍」のストーリーを次世代へ伝承するため、親子を対象とした伝統文化親子教室でも藍染め講座を実施しています。魅力ある伝統文化に、触れて学んで体感してみましよう。



文化研修センターでの藍染め講座の様子

クイズ

〇正解はまる言葉は何でしょつ。〇〇〇〇滝（美郷）

ひらがなも可



川田川上流にある滝です。落差は約30mで、標高700mの最西端にあります。落下する水が途中で岩にぶつかり、3段に飛び散るため、爽やかな水しぶきを浴びながら楽しめる景観に訪れる人々も満足です。

●正解者の中から抽選で10名様に吉野川市ブランド認証品を進呈します。

●応募方法

はがき、またはFAXにクイズの答えと郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号をご記入の上、吉野川市議会事務局までお送りください。応募の際に議会だよりについての感想や、「チョットひと言」添えてみませんか。

●応募先

〒776-8611 吉野川市議会事務局
TEL (0883) 22-2241
FAX (0883) 22-2242

●締切日 令和3年9月30日（消印有効）

チョットひと言

- ★早くコロナが収束したらぜひとも、孫とつじ公園に行ってみてください。（鴨島町 佐藤さま）
- ★岩の鼻から見る吉野川と高越山の眺めは最高です。川島に住んで良かった。（川島町 新居さま）

（前回の解答）「らむじ」



あどがせ



7月の初め、テレビには、真つ黒な土砂がものすごい勢いで家屋を押し倒し、斜面を駆け下っていく様子が映し出され、道路では押し寄せる濁流から必死に逃げ延びた人々の様子が。活発な梅雨前線の影響で関東から東海地方にかけて激しい雨が降り、静岡県熱海市の伊豆山で大規模な土石流が発生し「72時間経過後、なお29人の所在が分からず」との新聞報道がされていた。

設置が急速に広がっている。付近の住民からは、一体どうなるのだろうか、と心配の声もある。市の担当課に聞くと、山林の伐採は根元から切るのではなく、少し丈を置いて切っている。ある業者は、水路を

設置する計画とのこと。今や、気候変動による豪雨災害はどこで起きてもおかしくない状況にある。土石流や特別警戒地域などを総点検し、人命第一のまちにしなければと思う。

日本地滑り学会元会長の話によると「熱海周辺は火山性噴出物が積み重なっており土中に水分を含みやすかった」との見方を示した。一方、建設残土による盛り土も崩れ被害が拡大したとし、政府は太陽光発電所整備に伴う山林開発で土砂災害が起きないよう、立地を規制することも考えるという。

折しも、吉野川市でも山林を切り倒し、太陽光発電



【編集委員】

- 委員長 岡田 光男
- 委員 谷田 憲一
- 副委員長 岸田 益雄
- 委員 栗原 五男
- 阿佐 勝彦
- 北川 麦

発行／吉野川市議会 編集／議会広報特別委員会

〒776-8611 徳島県吉野川市鴨島町鴨島 115番地1

TEL 0883-22-2241 FAX 0883-22-2242

議会だよりは再生紙を使用しています